

山岳地域の女性が元気に暮らせる村づくりプロジェクト (2018年～2022年)



農村部の人々が医療サービスへのアクセス可能に！

■ **実施団体：**
特定非営利活動法人HANDS

■ **対象国・地域：**
パプアニューギニア独立国
エンガ州ライガム郡

■ **現地カウンターパート**
エンガ州保健局

■ **協力内容：**

- ・ 村落保健ボランティア (VHV) 育成研修の実施
- ・ 健康啓発活動教材の開発
- ・ コミュニティのエンパワメントと行政の理解促進を目的としたパートナーズワークショップの実施
- ・ 定期的なモバイルクリニック、健康啓発活動モニタリングの実施
- ・ 州保健局のマネジメント力の強化



■ **団体のこれまでの取り組み：**

2000年から、保健医療システムの開発と実践、専門的人材の育成、アドボカシーを柱に、ケニア等15か国で、保健医療、地域保健、栄養改善、アグロフォレストリープロジェクト、ランドスケープ・アプローチによるコミュニティ・エンパワメントを実施。

■ **事業実施の背景：**

都市部から遠く離れた農村部に位置するライガム郡では、深刻な医療従事者不足に加え、保健医療施設までのアクセスも悪く（徒歩で5時間以上かかる場合も）、特に妊婦や子どもを抱えた女性にとっては、その移動も容易ではない。そのため、産前検診やお産、子どもの予防接種等の適切な医療サービスを受ける機会が少なく、PNG全体と比較しても高い乳幼児死亡率が問題となっている。

パプアニューギニアの課題と成果

課題① 住民が適切な医療サービスを受けられず、健康に対する知識・関心も低い…

成果① 村落保健ボランティア(VHV)を育成し、VHVから地域住民へ健康啓発活動を実施！
⇒ 住民の保健に対する知識・意識が向上！自主的に清掃活動や手洗い器具設置等行う住民も増えた。

課題② 保健医療施設が実施するモバイルクリニック（移動式診療）が十分機能していない…

成果② 保健局が毎月モバイルクリニックの実施状況をモニタリングする仕組みを構築！
⇒ モバイルクリニック時に産前検診できる環境を整備し、産前検診実施率は24%から**94%**に大幅増！

事業の波及効果

！ 対象地域の女性の“エンパワメント”に貢献！

PNGでは一夫多妻の文化があり、女性の社会的地位が低く、日常的に家庭内暴力や性暴力にさらされている女性も少なくない…

⇒ 本事業を通じて育成したVHVの**約半数が女性**！
男性優位の社会で女性に適切な情報を伝えるための重要な鍵！

！ 他ドナー、他ファンドによる成果の普及！

- ⇒ UNICEF、WHOからの研修見学、視察
- ⇒ アジア開発銀行 (ADB) 資金でVHV育成研修の実施
- ⇒ UNICEFによる他郡でのモバイルクリニックの施設建設